

町田市 心のバリアフリー／情報バリアフリー ハンドブック改定

まちだユニバーサル社会推進計画（第3次町田市福祉のまちづくり推進計画）」
実施事業支援業務

2023・2024年度
東京都 町田市 福祉総務課

https://www.city.machida.tokyo.jp/iryo/machi/kokoro-joho_ud/kokoro_barrierfree.html
https://www.city.machida.tokyo.jp/iryo/machi/kokoro-joho_ud/joho_barrierfree.html

業務概要

目的・概要

町田市では、2022年度に「まちだユニバーサル社会推進計画（第3次町田市福祉のまちづくり推進計画）」を策定し、全ての人が共生する社会＝「ユニバーサル社会」の推進に取り組んでいる。

そこで、「まちだユニバーサル社会推進計画」や「ユニバーサルデザイン2020行動計画」を契機に変化してきた「障害の社会モデル」という考え方（「障害」は個人の心身機能の障害と社会的障壁の相互作用によって創り出されているものであり、社会的障壁を取り除くのは社会の責務である）に基づき、「心のバリアフリーハンドブック（2002年度作成／2008年度改訂）」及び「情報バリアフリーハンドブック（2005年度作成／2015年度改訂）」の全面改訂を行った。

心のバリアフリー ～みんなが暮らしやすいまちをつくろう～

概要

＊毎年、市立小学校4年生全員に配布予定

1章 まちの中にあるバリア

車いすを使っている人、目が見えない人、耳が聞こえない人を事例に「心のバリアフリー」について考える。（ワークシート付）

2章 「心のバリアフリー」のためにできること

車いすを使っている人、目が見えない人、耳が聞こえない人に対してできると、「障害の社会モデル」の説明、声かけのポイントなど

3章 いろいろな人の声を聞いてみよう

肢体不自由者、視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、発達障害者、妊婦／子育て中の親、精神障害者、高次脳機能障害者、外国人、性の多様性について

4章 もっとバリアフリーを進めるために

エレベーターやバリアフリースイレ、駐車区画の適正利用、様々なマーク、補助犬について

5章 みんなが暮らしやすいまちをつくろう

6章 先生や保護者の方へ



作成にあたり

市内の障害者団体（肢体不自由、視覚障害、聴覚障害、発達障害、精神障害）及び障害者支援団体（手話通訳者、点訳奉仕団）、高齢者クラブ、障害当事者個人の方にヒアリングを行い、ご意見をうかがい、意見を反映した。また、内容確認のための試行授業を市内の小学5年生を対象に実施し、さらに児童館に遊びにきている小学生延べ189人にもヒアリングを実施し、内容についてご意見をうかがい、意見を反映した。

情報バリアフリー ～すべての人のための情報のユニバーサルデザインを目指して～

概要

情報の取得などに困難を感じている人の特性や状況、多様なニーズについて紹介している。「合理的配慮の提供」が法的義務化されたこともあり、情報提供方法について事例紹介を行っている。ハンドブックの対象は主に市職員、市民活動団体を想定。

作成にあたり

市内の障害者団体、高齢者クラブ、障害当事者個人の方へのヒアリングの他に、町田市商工会議所会員事業者にアンケートを実施。ご意見をうかがい、反映した。

